

講義コード	11C0124700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	渡部 真弘	開講期	第1期
科目名	中級ミクロ経済学								
履修前提条件					備考				
授業の目的	需要曲線と供給曲線の背後にある経済主体の意思決定に関する理解を深め、現実の様々な経済現象や政策の効果を分析する知識の習得を目的とする。協力・非協力ゲーム理論の基本概念の習得を目的とする。								
到達目標	完全競争市場における経済主体の行動を経済学的視点で捉えることができる。余剰分析による市場メカニズムの評価に加えて、経済・社会問題を協力・非協力ゲーム理論の視点から分析することができる。文字式を用いた理論的分析に習熟する。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	この科目では、週に少なくとも4時間（計60時間以上）の自主的な学修が必要である。講義資料、講義内容を復習するための演習問題及びその解答をWebClassを通じて配布する。演習問題は定期試験対策には不可欠であるので、各自積極的に取り組むことが望ましい。								
授業計画	【第1回】 ガイダンス 【第2回】 消費者理論：限界代替率、限界効用、効用最大化条件 【第3回】 消費者理論：準線形効用関数、需要曲線、消費者余剰 【第4回】 消費者理論：貯蓄と借入 【第5回】 消費者理論：労働と余暇 【第6回】 生産者理論：平均費用、限界費用、利潤最大化条件 【第7回】 生産者理論：損益分岐点、操業停止点、供給曲線、生産者余剰 【第8回】 部分均衡分析：総余剰、死荷重 【第9回】 外部性：社会的限界費用、社会的に望ましい生産量 【第10回】 外部性：内部化、ピグー均衡 【第11回】 外部性：ゴミ投棄ゲーム、コア、シャプレー値 【第12回】 公共財：社会的限界便益、サミュエルソン条件 【第13回】 公共財：自発的供給ゲーム、ナッシュ均衡 【第14回】 公共財：リンダール均衡 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	評価割合は演習問題40%、期末試験60%とする。演習問題は10回分程度を予定しており、数回分の演習問題の提出が義務となる。								
フィードバックの内容	全ての演習問題・定期試験の模範解答・得点をWebClassを通じて配布する。演習課題の解説を授業時間内で行う。								
教科書									
指定図書									
参考書	『ミクロ経済学』 芦谷 政浩（有斐閣）2009、『協力ゲームの基礎と応用』 中山 幹夫（勁草書房）2012、『A Short Course in Intermediate Microeconomics with Calculus』 Roberto Serrano, Allan M. Feldman (Cambridge University Press) 2013								
教員からのお知らせ	上記の授業計画に基づいて講義を進める。履修者の理解度を考慮しながら授業を進めるので、進度によって内容を変更することがある。教科書は指定しない。担当教員が執筆した講義資料を配布する。講義内容に関する質問は、授業中に積極的に行って構わない。								
オフィスアワー	個別の質問・相談を希望する場合は、担当教員のオフィスアワー（金曜日4時限、2号館516研究室）を利用するか、メールにて事前に日程調整を行うこと。								
その他									